

前立腺肥大の低侵襲性治療

～経尿道的水蒸気治療 (WAVE)～



東京国際大堀病院泌尿器科 診療部長 排尿障害センター長 實重 学

30-40 歳以降、加齢に伴い多くの男性の前立腺は拡大し、(夜間) 頻尿、尿勢低下、切迫感・残尿感などの排尿症状を出現すると前立腺肥大症になります。進行すると昼夜の頻尿、残尿量増加・尿閉、発熱ともなう尿路感染、不眠、膀胱・腎機能低下、腎不全、高血圧・心機能低下などの重篤な状態になることもあります。

本邦の前立腺肥大診療ガイドラインでは、薬物療法や行動療法などの保存的治療の効果が不十分である場合、中等度から重度の症状を有する場合、または尿閉・尿路感染症・血尿・膀胱結石などの合併症がある場合に手術療法の適用を考慮するとあります。現在行われている手術療法は、長らくゴールドスタンダードであった TURP (経尿道的前立腺切除術) や、より根治的に前立腺を核出する HoLEP (ホルミニウムレーザー前立腺核出術)、TUEB (経尿道的前立腺核出術)、その他、出血の少ない PVP/CVP 治療 (レーザー蒸散術) などがあります。いずれも高い治療効果を得られます。しかし、全身状態や手術侵襲からこれらの手術を受けられず、半永続的に尿道カテーテルの定期交換や、長期の内服治療を行われている方がいます。このような方にも可能な手術治療として、2022 年 9 月に低侵襲性治療とする **経尿道的水蒸気治療 (WAVE : Water Vapor Energy Therapy)** が保険適応になりました。高額療養制度の適用にもなります。

WAVE とは、高温の水蒸気を用いる前立腺肥大症の新しい治療法です。Rezüm (商品名) システムを使用し、肥大した前立腺に 103℃の水蒸気を注入し、前立腺組織を 70℃まで上昇させ、組織を 1-3 か月かけて壊死・退縮させます。身体に対する負担が少なく、異物を体内に残さず治療することが可能になります。狙った部位のみに温熱エネルギーが伝達されますので、周辺臓器への影響も少なく、より高い排尿改善効果を得ることができます。5 年間の再手術率 4.4% (McVary KT, Gittelman MC, Goldberg KA et al) の報告があり、従来の手術治療 (TURP 7.3%) と比べても良好な結果です。加えて逆行性射精などの性機能に影響が少ないことも確認されています。

治療時間は 10-20 分程度で、全身麻酔で行うことが多く、眠っているうちに治療は終了

します。尿道から専用の内視鏡を挿入して、肥大した前立腺に2-15か所の穿刺を行い、高温の水蒸気を注入し終了します。高温水蒸気を注入すると前立腺はむくむため1週間~2か月間の尿道カテーテル留置が必要になります。大抵は1週間程度でカテーテル抜去できますが、前立腺容量による個人差があります。また、術後の有害事象の発現率は、4%以上のもので排尿障害、肉眼的血尿、血精液症、頻尿、尿閉があります。いずれも術後2か月で改善されます。手術適応は、前立腺体積が30-80mLを推奨され、従来の手術療法が困難な方が主になります。高齢者、脳血管疾患、抗血栓症・抗血小板薬内服、薬剤アレルギーなどをお持ちの方ですが、個々で尿路形態・排尿状態が異なりますので、尿路精査を行った上で適応を判断し、治療方針を相談していくことになります。

排尿が毎日、適した回数・排尿量・間隔で行われていないと、健康を維持することができなくなり、身体に様々な悪影響を及ぼします。以前と比べてトイレ回数が増えた、尿漏れ・尿勢低下・残尿感など気になることが少しでもありましたら、気軽にご相談ください。



経尿道的水蒸気治療 (WAVE : Water Vapor Energy Therapy)

手術時間	10-20分
入院期間	3日間
尿道カテーテル留置期間	1週間-2か月
費用	保険適応、高額療法費用の適応
再手術率	4.4 %

院長から一言 實重先生が当院に来られてから排尿障害に対する手術は劇的に増加し HOLEP は年間 100 例以上となりその他の吊り上げ術 (ウロリフト) や水蒸気治療も増えています。このことで患者さん個々の状況に応じた治療が可能となりました。手術は實重先生 (木曜日外来) を中心に実施していますが 他の医師も対応しておりますので 患者様が排尿障害でお困りでしたら いつでもご相談頂ければと思います。大堀